

## 平成 28 年度 フナビオとふれあう会報告書

【行事名】 フナビオとふれあう会  
 【日 時】 2016 年 6 月 11 日 9 : 30~12 : 00  
 【場 所】 舟島小学校  
 【天 気】 晴れ  
 【担 当】 平松俊、岩崎  
 【参加者】 生徒 256 名 教師 10 人 (1 年生~5 年生)

指導員：平松俊・岩崎・森田琢・畠・降幡・古川・浅井（一）・南川（知多自然観察会関係）

【内 容】今年も天候に恵まれて、絶好の観察会日和となりました。会議室にて担当の先生と指導員が打合せして、校長先生の挨拶の後、各学年の代表の生徒が指導員を迎えに来てくれ、各学年別に講座内容ごとに分かれて観察と講座に入りました。各講座ごとに観察・講義を終えてまとめ終了後会議室に集まり、校長先生から最後の挨拶が受け、予定の観察会と講座を今年も無事に終えた。

### 【講座内容】

学年	主な内容	講師	単元・主題名	人数
1 年生	・ ネイチャゲーム ・ 自然物工作	吉鶴 弥生 森田 琢磨	フナビオとなかよくなるろう (草花遊び、自然とふれあう)	4 4
2 年生	・ 草花や生き物の観察 ・ しおり作り	畠 烈	フナビオと仲良くなるろう (草花や生き物の説明)	5 4
3 年生	・ 生き物観察 陸生生物 (昆虫) 水性生物	平松 俊彦 降幡 光宏	私たちの身近な環境・ビオトープの 生き物 (生き物を調査して、生き物の 名前を覚える)	4 8
4 年生	・ 生き物観察 野鳥観察	古川 明正 岩崎 光明	樹木地図を作ろう	4 7
5 年生	・ 田植え ・ 川の生き物観察	深谷 若美 浅井 一光	集まれ、地域の生き物	6 6
6 年生	・ 水質調査	市生活環境課	フナビオの水を守る	

### 【各学年観察・講座内容】

◎ 1 年生「フナビオ工作」 担当：森田琢磨

校内ビオトープで集めた木の葉、木切れ、どんぐりなどを使って父兄と一緒に図工工作を楽しみました。卒園後約 2 ヶ月を経た子供たちはもう、立派な小学生になっていました。



◎1年生 担当：吉鶴弥生

ネイチャーゲーム ビンゴカードを使用して五感（目・鼻・口・耳・手で触る）を使って校内の自然観察をしました。



◎2年生 見聞きした植物と生物・植物のしおり作り 担当：畠 烈

校庭に集まった2年生50人。普段は何気なくすごしている身近な花や虫、樹木。いわば自然を改めて見てみることにより、興味が湧き意欲につながる。そんなことを願って一緒に校内を回った。花や実を順番に手にとって直に観る・触れる・嗅ぐ・聴くを体験してもらった。感動のあった花や葉、虫達の名前は先まできっと忘れないでしょう。校舎に入り図工室にてしおり作り。採集した花や木の葉を台紙に植物を置いて植物の名と自分の名前を書き、ラミネートを通してしおり作成。今日一番の「名前を知る」と同時に、はじめの願い「興味を持つ」ことができたでしょうか。一つでもあれば誠に幸いです。

観察できたもの

マツバウンラン、ニワゼキショウ、カタバミ、ムラサキカタバミ、アケビ、イボタノキ、マサキ、クワ、ウメ、ザクロ、アラカシ、シラカシ、シモツケソウ、トベラ、シャリンバイ、ケヤキ、ハンノキ、他  
オオヨシキリ、ウグイス、ムクドリ、キジバト、他  
モンシロチョウ、キチョウ、アゲハ、ベニシジミ、シオカラトンボ、ほか



◎3年生 陸生生物（昆虫）担当：平松俊彦

スタッフの集合場所会議室に迎えに来てくれた生徒達に案内されて3年1組の教室へ担任の先生に紹介され挨拶の後スケジュールや観察内容を説明して校庭に出て花壇の前に集まり、観察を始めました。チョウを期待しましたが見られず、バッタの幼虫がいっぱい見つかりました。樹木園ではモリチャバナゴキブリがラクダ山ではシジミチョウ類が、ビオトープではオオシオカラトンボが目立ち生徒たちは思い思いに虫かごに入れていました。観察池でイトトンボを探しましたが不思議と見つかりませんでした。担任の先生に時計係をお願いしたのが大いに役立ち、11:10に観察を終了し、教室に戻りました。見つけた虫の種類と場所を生徒に記録させましたがそのデータは使わず虫かごの虫だけでまとめをした。観察結果（昆虫）

ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ナミアゲハ、ヒメアカタテハ、ヒメジャノメ、ヒトリガ類、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボ、

オンブバッタの幼虫、ショウリョウバッタの幼虫、ヒナバッタ、クビキリギス、カマキリの幼虫、マルガダンゴムシ、ナガチャコガネ、クシコメツキムシ類、テントウムシ類幼虫、ゴマダラカミキリ、ヒメナガカメムシ、ホソヘリカメムシ幼虫、ツマキヘリカメムシ、セイヨウミツバチ、コハナバチ類、クロヤマアリ類、キリウリガガンボ、キンバエ類、アシナガキンバエ類、ヒゲジロハサミムシ、モリチャバネゴキブリ



◎3年生 水性生物 担当：降幡光宏

子供たちは、お話を熱心に聞いて指示したとおり活動してくれました。昨年は生息する生き物の種類をたくさん紹介することを考え、一緒に採取しました。今年は、予め生き物の仲間ごとの水槽を設置し子供達に採取してもらいました。その結果、アメリカミズアブ、アカムシ、エラムミズなどは確認できませんでした。最後のまとめは、個々の生き物の解説でなくアメリカザリガニや子供達が持参したアカミミガメなどの外来生物がどんな影響があるかをお話ししました。どんだけ理解していただいたか疑問？



◎4年生 野鳥観察 担当：岩崎光明・古川明正

毎年同じ時期に野鳥観察を行っていますが、野鳥観察の時期としてはあまりいい時期とは言えません。冬鳥が去り夏鳥が来ている時期です。毎年10種類～15種類ぐらいは見られますが今年は12種類しか見られませんでした。野鳥の話だけでなく草花の話をし、それなりに楽しんでもらったのではないかと思います。

(確認できた鳥)

ムクドリ、スズメ、ツバメ、キジバト、カワラヒワ、ホオジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、オオヨシキリ、カルガモ、ドバト、



◎ 5年生「田植えの方法を知り田植えを体験する」 担当：東海市在住の深谷若美さん  
 内容 お米のつくり方のお話を聞いて校庭内に作られた田圃に入り田植えの体験をする  
 田んぼの泥に足を取られておっかな腰で田植えを体験しました。



◎ 5年生「川の中の生き物観察」 担当：浅井一光  
 \* 見つけた生き物

ドジョウ、ウシガエルのオタマジャクシ、ヌマガエル、イシガメ、ミシシippアカミミガメ（外来種）、  
 カワナ、シジミ、ヤゴ（トンボの幼虫）何トンボか判らず、アメリカザリガニ（外来種）  
 イシガメ（今年生まれた子ガメ） ドジョウ



ヌマガエル



川に入り生き物を採集しています

